

2013-2014 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1



国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度ガバナー 安孫子 建雄

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を  
**ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES**



国際ロータリー第2510地区 2013-14年度 行動指針

- I 大震災復興への支援事業継続
- II R I 戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
- III クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り  
 会員の維持増進につなげよう
- IV グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう  
 対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

**CONTENTS**

<b>目次</b>	ガバナーメッセージ	1
	ロータリー研究会参加報告	2
	ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)に参加して	3
	ロータリアンのための新世代会議	4
	2014-2015年度地区ガバナー補佐会議開催	5
	公式訪問報告	6
	2013-2014年度各賞の申請について	11
	新会員のご紹介・地区組織図の変更について・文庫通信	12
	米山寄付・ロータリー財団寄付・	
	2013-2014年度 カレンダー (下半期)	13
	出席率・会員数	14



## 年がかわり目指すのは入ってよかったロータリー

国際ロータリー第2510地区

2013-2014年度ガバナー **安孫子 建 雄**  
(江別RC)

2510地区71クラブの会員の皆様新年あけましておめでとうございます。  
今年の干支は午年"うま"です。午年のひとの性格や運勢を詮索するのはなんですが、今年は元気で勢いのある年にしたいものです。

月信の毎号に公式訪問の様子を掲載して頂いておりますが、一つ一つ思い出しながら拝見しております。

そして皆さんにまたお会いできたらと思っています。

ガバナー任期は半分を過ぎ後半に入りました。12月にロータリー研究会が東京で開かれ、ロンD. バートン会長ご夫妻と久しぶりの対面を果たしました。我が同期のガバナーの23地区は大会を終えており余裕の人、まだこれからの人と対照的な表情を見せておりました。

しかし昨今の今頃はサンディエゴ行きを控えてなんとも言えない重苦しさがありました。今年はみんな自信を身につけたように見えました。

1月はロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month) ですが、12月は家族月間 (Family Month) でした。

どちらもロータリーを理解することでは欠かせない月間となります。

公式訪問では多くのクラブで新入会員への教育や指導が課題とされています。さらにクラブでは家族が例会や奉仕事業への参加することを企画しています。しかし効果的に私達の気持ちは伝わっているでしょうか。

ロンD. バートンR I 会長は「新しく会員を正面口から迎え、裏口から出て行かれる」と言っていますが、何が問題なのでしょう。

私達にとって本当に身近なクラブの仲間たち、家族にロータリーの何たるかを理解し、しっかり伝えなければなりません。

ポール・ハリスと3人の仲間の始まり、アーサー・シェルドンの理論、そして数多くのロータリアンたちが述べている思いはみんなの力になっています。

多様な人々、職業・専門職種、地域、国が「一つ心」に集い会えるのは「超我の奉仕」を信じ実践するからできるのです。

多様性が排他性になったらどんな世界になるでしょう。そうならないために私達は日頃の言動に注意を払い、人々の尊重を目指して行かなければなりません。あなたを理解する事は自分を理解することにつながります。

「超我の精神」はロータリーだけのものではありません、多くの人々が身につけています。その心を持って奉仕する事を私達は行っています。

私達のロータリーはみんなのロータリーでもあります。

まわりの人々、遠くはなれた異国の人々そしてすぐそばにいるみんなの家族への奉仕を通してロータリーの心を伝えて行きましょう。

ロータリーを理解してもらいロータリアンが増えていくことがみなさんと私の今年の夢としたいと思います。

残りの任期をしっかりと全うして参りますので宜しくお願いいたします。

地区会員そしてご家族みなさんのご健勝をご期待し年頭の辞と致します。

### 12月家族月間 (Family Month)

1995-96年度ハーバート・ブラウンR I 会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のR I 理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2003年7月の同理事会において、2003-04年度ジョナサン・マジリアベR I 会長が、家族の重要性を主眼にしたことを称え、12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

### 1月ロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month)

会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。

### ロン D. バートンR I 会長ご夫妻 歓迎晩餐会で



ロン D. バートンR I 会長ご夫妻



第2530地区 佐原PGご夫妻



## ロータリー研究会参加報告

国際ロータリー第2510地区

バストガバナー **酒 井 正 人**  
(函館五稜郭RC)

2013年12月3日(火)～4日(水)の2つ日間、東京台場のホテルパシフィック LE DAIBAにおいて、ゾーン1、2、3の第42回ロータリー研究会が開催されました。

招集者は北 清治(浦和東)国際ロータリー理事で、ロン D. バートン国際ロータリー会長ご夫妻をはじめ、国内外から約500名の参加がありました。当地区からは安孫子建雄ガバナーご夫妻を筆頭に14名が参加して、朝8時半からの勉強を2日間してきました。

第1日目は招集者である北 清治理事(佐々木正丞ガバナー年度地区大会のR I 会長代理を務められた)の挨拶に始まり、午前中はR I 理事会、ロータリー財団、ポリオプラスの近況報告等がされました。

午後はロン D. バートン国際ロータリー会長「日本のロータリアンに期待する」の基調講演があり、自分はロータリーを一度退会しているが、その後再入会しクラブの国際奉仕委員長に任命された。自分を必要としてくれていることを知り「やるき」をおこした。新入会員にクラブがあなたを必要としていることを認識してもらうことが会員維持に大きく影響するとの趣旨であり、参考となるものでした。

続く第1セッションは三木 明R I 研修リーダーがモデレーターとなり「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」のテーマでフォーラムが行われました。

このセッションは現職のガバナーからの発表で、中でもクラブ拡大においてスポンサークラブを持たずに、親クラブの影響を受けないクラブや入会金の要らないクラブについて説明がありました。

第2セッションは南園義一元R I 理事がモデレーターとして「ロータリーの目的とR I 戦略計画」についてフォーラムが行われました。R I 戦略計画の概要、ロータリーの目的、中核的価値観、今後の戦略的計画作戦が語られ、中核的価値観としてはビジネスの隙間をうめる活動に注視すべきであるとの意見がありました。戦略的計画作戦ではロータリー活動のマナー化を改善することであり、クラブ研修リーダーの役割や研修体制の明確さが求められました。

第2日目はG. Kenneth Morgan R I 会長エレクト・エイドによる「北米におけるロータリー研究会」と題して講演が行われました。世界各地で行われるロータリー研究会にはR I 会長や理事が手分けして出席するようですが日本で行われる研究会にはR I 会長が参加するのが恒例になっているようです。

第3セッションは井上暎夫第3ゾーン・ロータリーコーディネーターが務められ、「クラブのサポートと強化」のフォーラムが行われました。2013年までには会員数130万人に、日本の会員は10万人にしたい。そのためには入会の動機付けと熱心なアプローチが必要であり、また、会員増強は入会させることなく、真のロータリアンにすることであるとしていました。そのためにはR L I 方式の研修も欠かせないとしていました。

第4セッションは宮崎茂和PDGによる「人道的奉仕の重点化と増加- 未来の夢計画」についてでした。ここでは主にロータリー財団についてであり、会員数の少ない地区でのDDF活用法やグローバル補助金、地区補助金の活用法が話されました。

第5セッションは金杉 誠第2ゾーン・ロータリーコーディネーターが務められ「公共イメージと認知度の向上-Rブランド」についてでした。ロータリーのブランドとは何か、ロータリーはどのように視られているのか、イメージの向上をはかるための方法につて述べられました。また、子育て世代の会員を意識して子連れで例会に参加する例があげられ、ロータリーに新しい風を期待していました。

この他、「80歳エベレスト登頂～希望の軌跡～」と題した三浦雄一郎氏の記念講演や配偶者のため「夢を跳ぶ～パラリンピック・アスリートの挑戦～」と題して佐藤真海さんの講演が並行プログラムとしておこなわれました。





## ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **羽 部 大 仁**  
(札幌南RC)

2013年12月2日(月)、東京のホテルグランパシフィックLEDAIBAに於いて第2回ガバナーエレクト研修セミナーが開催されました。招集者は北清治RI理事で、松宮剛RI理事を始め、杉谷卓紀RI理事エレクト、辰野克彦RI研修リーダー、桑原茂RI研修リーダー、三木明RI研修リーダーから国際協議会に向けてのお話がありました。我々同期のガバナーエレクト34地区全員と配偶者が熱心に研修を受けて参りました。(私は娘さやかと参加)

第1回目は、9月3日～4日の両日グランドプリンスホテル新高輪で開催されました。全体会議、グループセッションを9時から17時近くまで続くタイトな研修でした。第1回目も配偶者同伴でしたので、娘を連れて参りました。娘の参加した研修は、ロータリーの歴史からその奉仕の実践まで、娘をして「良くロータリーが解ったよ!」と言わしめるほど良く精査されたプログラムのようなでした。

ガバナーエレクトには、様々な分野に亘るセッションがあり、次々にリーダーから質問が浴びせられます。テキストはガバナー要覧が主で、各研修リーダーからワークシートが配布されると始めのうちは、テスト用紙かと心拍数が高鳴りました。準備が進んでいる地区もあり、少し焦りましたがそれぞれの地区に問題も多くあるように聞いて安堵しました。

ガバナーエレクトの責務として地区の戦略計画とロータリーの戦略計画に沿った地区目標を決めるとされています。又ガバナーの責務は、戦略計画でクラブを強化し、人道的奉仕を实践し、公共イメージを向上させる3点を地区に於いて、クラブに於いてクラブ目標を設定し、それを検証することされています。



安孫子ガバナーと娘のさやかと一緒に



ゲリー・ファン 2014-15年度RI会長の  
エイドのRI元理事のモーガンさんと

先日地区の戦略計画会議を安孫子ガバナー、細川直前ガバナー、嵯峨ガバナーノミニと酒井次期地区研修リーダーご出席のもと、次年度に向けて地区の運営方針を作成するための協議を致しました。

今回は初日に財団セミナー、2日目にGETS、3、4日目とロータリー研究会、5日目に米山セミナーが開催され、仕事上何時も一方的に相手に話をする立場が一転して、話を聞くことがこんなに辛い事だと気付かされた研修会でした。皆様ご苦労様でした。

# ロータリアンのための新世代会議

2013年11月24日(日) 14時～ 札幌パークホテル

地区新世代奉仕委員会

委員長 柳

孝 一

(札幌幌南RC)

地区内50クラブから、人数では我々を含め100人集まって戴ければ大成功と思ってご案内をしたところ、60クラブ122名の皆さんにご参加戴きました。

新世代奉仕は2010年の規定審議会でも新世代奉仕が第五の奉仕に加わり、2011年熊澤年度から運用が始まりました。といっても劇的に新世代が変わるといふ事も無く現在に至っていますが、着実に進んでいます。

2012年細川年度、細川ガバナーが「新世代」を地区の第一目標に掲げられ、数年無かったRYLA委員会を新設し、RYLAセミナーを地区大会と一緒に開催しました。

2013年の規定審議会でも新世代奉仕から「青少年奉仕」に名称を変更することが決まり、地区・クラブで徐々に名称変更を進めている中での会議でした。

会議は安孫子ガバナーのご挨拶で開会しました。ガバナーは地区内ローターアクトクラブの例会をくまなく回られ、アクトと接した事などをお話しされました。

地区委員会からは趣向を凝らしたプレゼンテーションをして戴きました。

まずインターアクト委員会から山田副委員長（静内RC）、札幌龍谷学園高等学校インターアクト顧問教師酒井奈津美先生から、クラブの活動の紹介やロータークラブとの関わりなど紹介して戴き、齋藤委員（札幌モーニングRC）からクラブでの新世代の奉仕活動の説明がありました。

ローターアクト委員会の坂井委員長から、安孫子ガバナーが地区内5つのローターアクトクラブの例会に訪問した様子を紹介。西村ローターアクト地区代表（千歳RAC）登壇、交換留学生からローターアクトクラブに入会したいきさつや、活動の紹介、アクトを卒業し、「いつかはロータリアンになりたい！」と心強い言葉で締めてくださいました。

青少年交換からは現在札幌在住のROTEX ディラン・マーニー（オーストラリア9550地区）君が、山の手高校で過ごした一年間で日本が好きになり、アルバイトをしながらモデル・タレントになることを目標に今過ごしている事を流ちょうな日本語でスピーチ。出口委員長から地区の現状や短期交換留学などの説明がありました。

委員会の最後はRYLA委員会から舛田委員長が、来年4月19日・20日札幌で行われるRYLAセミナーの具体的なプログラムを紹介し、クラブから若者をRYLAに登録・参加を促すプレゼンテーションがありました。RYLAのメインはJR東日本テクノハートTESSEIのおもてなし創造部長矢部輝夫元専務を講師に迎え、車内清掃が世界から注目される「新幹線劇場」へ、陣頭指揮を執った同氏から、組織変革のプロセスから、組織のリーダーのあり方を学ぶプログラムについてビデオを用いてご説明して戴きました。登録・参加

目標は100名で、詳しくは改めて案内が各クラブへされます。

講評として羽部ガバナーエレクトから20数年前から新世代との関わりをユーモアたっぷりにお話し戴きました。

最後に、この時期に新世代会議を開催した主な趣旨は、各クラブからRYLAに若者を推薦し参加させて戴きたいというお願いをするためでした。

クラブで検討戴くため、早めにご案内するほうが良いと考えました。インターアクトやローターアクトクラブを誕生させるには、時間も予算も必要ですが、RYLAに参加することは容易です。RYLAに参加してクラブの新世代活動を活発にして戴くことをお願いいたします。



# 2014-2015年度地区ガバナー補佐会議開催

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **田澤 泰明**  
(札幌南RC)

2014-2015年度地区ガバナー補佐会議が、2013年12月7日（土）、ルネッサンスサッポロホテルで開催されました。

当日は12グループの次期地区ガバナー補佐と酒井正人次期地区研修リーダー（PG）、遠藤秀雄次期地区ロータリー財団委員長（PG）、久保田俊昭次期地区財団資金管理委員長、羽部大仁ガバナーエレクト、嵯峨義輝ガバナーノミニ一、次年度地区幹事等12名が参加しました。



12グループの各次期地区ガバナー補佐から自己紹介をいただいた後、酒井正人次期地区研修リーダー（PG）から「ガバナー補佐就任にあたって」、遠藤秀雄次期地区ロータリー財団委員長（PG）から「財団の概要と未来の夢計画」、久保田俊昭次期地区財団資金管理委員長からは「新しい補助金システムについて」それぞれご講演をいただきました。

た。

その後懇親会、二次会と続き楽しい時間を過ごしました。羽部年度の最初の大きな行事でした。

いよいよ次年度が始まりますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 公式訪問報告

### 余市ロータリークラブ

10月30日 (水)

10月30日(水)当クラブの山田昭恵会員が経営するホテル水明閣において、午後4時より、会長・幹事懇談会を開催。本間会長より当クラブの特徴、今年度の取組みについて説明が行われました。

午後5時より、クラブ協議会を開催。各委員会委員長より計画の説明があり、ガバナーから各々の委員会に示唆に富んだご意見を頂きました。

午後6時より例会を開催。安孫子ガバナーより、今年度のR Iのテーマ、地区の目標、新たな取り組みなど、プロジェクターを使い分かりやすい卓話を拝聴致しました。その後の会食では、ガバナー並びにガバナー補佐と、当クラブ会員と親しく和やかに交流を頂きました。

例会終了後、ガバナーには同ホテルにご宿泊して頂き、ガバナー補佐と共に、当会員のお店等で、余市の夜とニッカウヰスキーを堪能して頂きたかったのですが、お時間の都合で叶いませんでした。是非今度はごゆっくり御来町頂きたいと思っております。



### 札幌清田ロータリークラブ

11月5日 (火)

11月5日、安孫子ガバナー、小田切ガバナー補佐をお迎えしました。会長・幹事懇談会においては会長より当クラブの履歴・活動内容の説明、クラブアッセンブリーでは、各委員長より委員会の活動内容の報告・説明をしました。ガバナーより当クラブの訪問は71クラブ中58番目であり、クラブ訪問も後半に入ったが、全クラブの訪問はガバナーの特権なのでより緊張感をもって行ってきたいとの挨拶を頂きました。ロータリーの広報活動に関してホームページの制作を検討しては。会員の増強に関して、現在、毎年12万人が入会し12万人が退会する状況。退会者を半分にできれば毎年6万人の増強となるので退会者を出さないよう既存会員への働きかけは極めて重要。それには、例会に欠席を始めた会員への積極的な声掛け等のフォローが必要。又、ロータリーの活動は複雑多岐であり、会員の入会の動機も様々。理解し易いところから説明をしていくのが効果的では。又、少人数クラブにおいては各クラブ間の交流が重要であり、各クラブの独自性・特色を創造していけるのが少人数クラブの利点では等、多くの有益な提言を頂きました。会員一同、心より感謝申し上げます。



### 札幌セントラルロータリークラブ

11月5日 (火)

11月5日(火)、安孫子ガバナー、小田切ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が開催されました。当日は17時より会長・幹事懇談会が行われ、当クラブの現状報告及び今後の計画について説明をいたしました。その後当クラブ理事3名も加わりクラブ協議会が行われ、安孫子ガバナーからは、小クラブ(5名)であることをご考慮頂き、適切なアドバイスを頂きました。また小田切ガバナー補佐からは会員増強等について、具体的な指導を頂きました。

①当クラブの特徴である例会をもっと専門分野に特化し、魅力

ある卓話のプログラム作成に努力し、他クラブからの会員がメーキャップしやすいよう広報に努めること。

②会員増強については、次期R I会長ラビンドラン氏(ロータリーの友11月号)が述べている若い世代も重要であるが、経験豊富な退職者にもアプローチすべき

③クラブ内にとどまらず、他クラブにメーキャップし、情報の共有に努力すべき。以上が主な協議会での内容でありました。今後のクラブ活性化に重要なお意見を頂きました。

例会ではプロジェクターを利用したR Iの様子、今年度の方針を説明頂き、楽しく有意義な時間を過ごさせていただきました。安孫子ガバナー、小田切ガバナー補佐、当クラブ訪問有難うございました。





**札幌東ロータリークラブ****11月7日 (木)**

11月7日(木)安孫子建雄ガバナーをお迎えして、今期60番目の公式訪問が行われました。

朝10時から11時までの会長・幹事・エレクト懇談会では、菊地会長より今期の活動計画の概要、会員数維持、今期創立55周年に田中作次R I前会長をお招きする計画等について説明した後、ガバナーと懇談をしました。

11時からのクラブ協議会は23人の理事役員が集まり、各委員長さん全員から手短かに活動内容をガバナーに説明し、その後講評を頂きました。その中でメーカーキャップをもう少し進めたい、他のクラブへ行く習慣をつけることで他を知る事が必要である事。ロータリーを家族にもっと理解してもらう為にどうすべきかを強調しておられました。

12時30分からの例会では、ガバナー入場時には地区大会での「花は咲く」全員合唱の画像を流しながらガバナーに入場して頂き、ガバナー卓話の前には地区大会での表彰者に、ガバナーから直接渡して頂きました。また当日新会員の入会日と重なり、新入会員にもガバナーから直接バッジの贈呈をして頂きました。

長い一日でしたが安孫子ガバナーには心より感謝申し上げます。

**札幌南ロータリークラブ****11月8日 (金)**

11月8日(金)、61番目のクラブということで、安孫子建雄ガバナー、小田切房之ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

10時からの会長・幹事懇談会にてガバナー、ガバナー補佐、会長、幹事、会長エレクトとロータリー全般の会話をし安孫子ガバナーより色々とお教示いただきました。その後、11時よりクラブ協議会にて五大奉仕委員長からクラブの活動の現況などについて報告し、それに対して安孫子ガバナーから適切なアドバイスを頂戴いたしました。12時30分からの例会ではロン D. バートン R I 会長の紹介や今年度の R I テーマ等、スクリーンを使用してわかりやすく解説していただき、また写真を交えてご紹介いただいた国際協議会の様子は大変興味深いものでした。次年度、羽部会員をガバナーとして輩出することにエールを送っていただき当クラブ会員にも大変参考になるお話をいただきました。

当札幌南 RC をご訪問いただいた安孫子ガバナー、小田切ガバナー補佐に心より感謝申し上げます。

**札幌手稲ロータリークラブ****11月9日 (土)**

冷え込んではいとも晴天の土曜日に安孫子ガバナー、玉造ガバナー補佐をお迎えし公式訪問が開催されました。会長・幹事懇談会では32回目となる「ロータリー杯争奪西区・手稲区中学校スポーツ大会」、25年目を迎えた「高校生奨学金制度」の説明をしました。安孫子ガバナーより長年にわたり地域に根ざした意義深い継続事業であると賛辞を頂きました。また、財団の「未来の夢計画」の一環として行った「CAMU I ロケット体験学習会」(11月2日赤平市植松電機にて実施)の報告もさせて頂きました。クラブ協議会では今期事業等の発表と新会員3名のスピーチ後、安孫子ガバナーより多少本音も含めた貴重なアドバイスを頂きました。例会では、サンディエゴの国際協議会のお話を中心にロン D. バートン R I 会長のテーマや今期方針等のお話をされました。安孫子ガバナーの親しみやすいお人柄と玉造ガバナー補佐のお心遣いに会員一同感心しながら公式訪問を終了させて頂きました。



**札幌南ロータリークラブ****11月11日 (月)**

11月11日(月)、安孫子建雄ガバナー、第5グループ小田切房之ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午前10時より会長・幹事懇談会が行われ、徳中会長より役員紹介、札幌南クラブの特徴、重点目標等を示し、ガバナーより他クラブの状況、特に会員増強への取組みについてご意見をいただきました。

11時からのクラブ協議会では、理事・役員・各委員長出席のもと、クラブ奉仕、社会、国際、新世代奉仕の各委員会から活動計画、実施状況について発表した後、ガバナーより懇切丁寧の一つ一つの事業に対し、大変参考になるご意見ご指導をいただきました。

12時30分からの公式訪問例会では、江別クラブから4名のビジター出席があり、地区大会無事終了のお礼のご挨拶がありました。メインプログラムでは、ガバナーよりアメリカの国際協議会、リスボンでの国際大会の様子について、楽しいエピソードを交えながら解説をいただきました。最後は、江別クラブから当クラブに寄贈された槌による点鐘により、無事閉会となりました。

安孫子ガバナーには心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

**札幌西ロータリークラブ****11月12日 (火)**

11月12日(火)10時からの会長・幹事懇談会が和やかなうちに終了しその後、アッセンブリーが開催されました。

アッセンブリーにおいては、特に、職業奉仕並びに社会奉仕の両委員会の共同事業として実施した<ピンクリボンプロジェクト>(乳がん検診推進ボランティア活動)そして、会員の職業等の履歴を記した<社会活動紀要>の冊子化に対し、ガバナーより高い賞賛をいただきました。

12時30分からは安孫子ガバナー、玉造ガバナー補佐臨席の元、公式訪問例会が当クラブの北島会長の開会宣言、点鐘で始まりしました。

安孫子ガバナーにとっては我がクラブが2510地区、71クラブ中、64番目のクラブ公式訪問でありました。

安孫子ガバナーはパワーポイントを利用し、①ロータリーのロゴマークを変更した件、②公式訪問の目的を述べられたあと、時間いっぱい国際協議会での様子について情報提供いただきました。

**札幌ロータリークラブ****11月13日 (水)**

去る11月13日に安孫子ガバナー並びに玉造ガバナー補佐をお迎えし「ガバナー公式訪問」を開催致しました。「ガバナー公式訪問」は3つのパートから構成しており、主要行事である午前11時開催のクラブアッセンブリーに先立ち、安孫子ガバナー、玉造ガバナー補佐を、当クラブの柿本会長、勝木会長エレクト、長井幹事の3名でお迎えし、会長・幹事懇談会を開催致しました。

会長・幹事懇談会では、両者の緊張をほぐすためのご配慮をガバナーに賜り、一般的な社会情勢に関してのお話から、最後には課題である会員増強のあり方についての論議を交わしました。1時間の会談後、いよいよクラブアッセンブリーに移ります。

クラブアッセンブリーではクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の各委員長から、当クラブの主要な活動の概要をガバナーに報告させて頂きました。報告完了後、安孫子ガバナーよりご講評を頂き、「若い人と語ろう会」「五色百人一首の会」など、当クラブ独自の活動に関して評価して頂き、和やかな雰囲気のもと終了いたしました。

そして、クラブ例会です。ガバナーにはご挨拶の後、卓話を賜りましたが、ロータリーを存分に楽しみながら活動されていらっしゃるガバナーから、ロータリー財団・世界大会に関してなど領域の広い様々なお話を賜りました。お人柄がにじみでて、非常に楽しい例会となりました。



**札幌西北ロータリークラブ****11月14日 (木)**

安孫子建雄ガバナー、玉造啓子ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

10時からの会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、当クラブの初代清水省吾会長が提唱された「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」を永遠のテーマとし、会員増強・CLPについて色々と話し合いました。「ロータリークラブをもっと魅力あるクラブにしなければならない」との結論に達し、又新しい会員には、今までのロータリアンが寄り添って行かなければいけないとのアドバイスもガバナーから頂き終了しました。

11時からのクラブ協議会は、5大奉仕を中心に、各委員長から今年度の活動計画、活動状況を報告し、その後、各委員会活動についてガバナーから貴重なご指導を頂きまして、クラブ協議会を終える事が出来ました。12時30分からの例会では、安孫子ガバナーから国際協議会の卓話をして頂き、「全てのロータリアンが人生の大半をロータリーに捧げることは難しいとは思いますが、ロータリーの心を持って毎日過ごす事は可能です。地区会員の皆さん、家族の皆さんとロータリーを感じ、親睦を重ね、奉仕を続けましょう。みんなでロータリアンになりましょう。」との最後の締めめの言葉を頂き、再度ロータリアンとは？と考えさせられました。最後に安孫子ガバナー、玉造ガバナー補佐を囲みメンバー全員で記念写真を撮り、公式訪問を終える事が出来ました。

**札幌大通公園ロータリークラブ****11月14日 (木)**

11月14日(木)安孫子ガバナー、小田切ガバナー補佐を迎えてのガバナー公式訪問が行われました。午後5時30分から会長・幹事懇談会が開かれ、当クラブより会長、幹事が出席して懇談会が行われました。

クラブの現状、奉仕活動をご説明いたしました。クラブの会員数は11月1日現在、男性13名、女性1名の計14名で活動しております。特に奉仕活動については毎年夏に行われている大通公園でのポリオ街頭募金活動、秋の献血活動は会員全員が参加して活動している事を報告いたしました。会員の体を使った奉仕活動に感銘して頂きました。また少人数のクラブながら地区の委員会に3名の委員を輩出していることに謝意を頂きました。

6時30分より「ほっとパーティ例会」で2名の新入会員の入会式を安孫子ガバナー立ち会いのもとで執り行われました。また貴重なガバナー研修のお話を頂き会員一同大変有意義なひとときを過ごしました。

例会終了後に安孫子ガバナー、小田切ガバナー補佐を囲み記念写真を撮り終了となりました。

**札幌北ロータリークラブ****11月18日 (月)**

安孫子建雄ガバナーの公式訪問は、11月18日午前10時からの会長・幹事懇談会にて始まりました。

札幌北RCは当地区71クラブの68番目の訪問クラブと伺いました。ガバナーから「71ものクラブを回るのはとてもシンドイことだが、71ものクラブを回れるのはガバナーにしかできないことだと気づき、シンドサが喜びに変わってきた」との報告がありました。

クラブ運営の基本方針、『情報を集め、実践して、楽しもう』について説明後、ガバナーから『実践して』がなかなか難しい。どのようなことを心がけているのかとの問いに、前田会長は会員ショートスピーチの例を上げ、会員間の情報の提供・交換に努めている、との報告がされました。ガバナーから、クラブ運営の秘訣として「クラブに所属してもやる事がなければモチベーションは上がらない。全員参加のクラブ運営を行うことが肝要。また、新会員を迎えたら、重点的にウエルカムすることが大事である」等のご教示を頂きました。



11時からは第2回クラブ協議会が行われ、各委員長から活動詳細が述べられました。

その後の例会では、ガバナーから国際協議会や、リスボン国際大会等の報告がありました。

今回のガバナー公式訪問では、安孫子ガバナーが素晴らしいリーダーであることに加え、気さくなお人柄を身近に感じる事が出来、大変素晴らしいガバナー公式訪問となりました。

**岩見沢東ロータリークラブ****11月19日 (火)**

71クラブ中69番目の当クラブの公式訪問が11月19日(火)に安孫子ガバナー、第3グループ大竹ガバナー補佐、北野ガバナー補佐幹事をお迎えして行われました。

会長・幹事懇談会では、当クラブの現況等と増強への意気込みを会長エレクト、副幹事をまじえて説明させて頂きました。引き続き行われたクラブ協議会では、各委員長及び小委員会の各委員長から活動計画、報告が熱心に行われました。その後、安孫子ガバナーより、一つ一つ丁寧に講評を頂き、予定時間をオーバーして協議会は終了しました。

公式訪問例会では、八島地区代表幹事、郷地区大会実行委員長、吉田地区財務委員長も加わり、パワーポイントを使って、安孫子ガバナーより国際協議会、ガバナーエレクトの研修、世界大会の様子を写真を見ながら説明して頂きました。また当日入会した新会員にガバナーよりバッジをつけて頂きました。最後に全員で記念撮影を行い、公式訪問例会を終えました。

お忙しい中の公式訪問に会員一同心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

**岩見沢ロータリークラブ****11月21日 (木)**

11月21日(木)安孫子ガバナー、高田ガバナー補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。会長・幹事懇談会では、今年度60周年記念式典を5月24日に予定している旨を伝え、安孫子ガバナーからはCLPの信頼性、各委員会の横の連携、分担協力について詳しくお話いただきました。クラブ協議会では、16委員会及びに、SAA、会計から活動報告、活動計画が発表され、総評では、同じく横の繋がりを大切にして、市民とかかわりを持ってほしい。ロータリークラブは垣根無く活動できる仕掛けになっている。普段からロータリアンであることを意識して行動してほしいと話されていました。例会には、八島代表幹事、吉田財務委員長、郷地区大会実行委員長にもお越しくださり、70番目ということもあり終始和やかな感じで進められ、RI会長テーマやアメリカ・サンディエゴでの国際協議会で、532名のガバナーが家族と共に出席し盛大に開催されたことや、その中でのエピソード等をお話して頂きました。その中でも特に当クラブの嵯峨ガバナーノミニーに対するエールと心得を教授いただいたように感じました。安孫子ガバナーは、最後がご自身のクラブでの公式訪問ですので、実質最後の公式訪問であると何度も何度もこやかにおっしゃられていたのが印象的でした。親しみやすいお話を頂き会員一同心より感謝申し上げます。

**江別ロータリークラブ****11月28日 (木)**

11月28日(木)、江別市民会館において、安孫子建雄ガバナー、大竹繁夫ガバナー補佐、高田正則補佐幹事をお迎えしての公式訪問例会が行われました。安孫子ガバナーにとってはホームクラブである江別クラブ訪問と言うことと、7月からの約5ヵ月間にわたっての公式訪問最終日ということもあって、大変リラックスされたご様子で例会に臨まれておりました。

午前10時より会長・幹事懇談会が行われ、11時よりクラブ協議会がスタート、各担当者から江別クラブの活動状況が報告されました。

ホームクラブと言う事もあって、講評しづらい中で「しっかり計画通りに行われているんだね(大笑)」とのお褒めの言葉をいただきまして協議会が終了しました。

12時30分から例会に入り、この中でスライド(パワーポイント)を使って国際協議会等の卓話をいただき、最後に出席者全員で集合写真を撮影して例会を終えました。

安孫子ガバナー本当にお疲れ様でした。残りあと半年、くれぐれも体調に気をつけて頑張ってください。



## 2013-2014 年度各賞の申請について

### 2013-2014年度会長賞

2013-14年度会長賞は、会員増強、ロータリー財団を通じた人道的奉仕、ロータリーファミリーを通じたネットワークの各分野において優れた活動を実施したクラブを表彰するための賞です。会長賞の資格を満たすには、クラブは3つの必須項目を満たし、さらに、2013-14年度会長賞の書式（900A-JA）に記載されている各カテゴリー\*から3つの項目を達成または完了させることが条件となります。

クラブ会長が書式に記入・署名し、2014年3月31日までに地区ガバナーに提出する必要があります。この書式は記入可能なPDF形式となっておりますので、記入後に保存し、Eメールに添付してお送りいただけます。

\* 4つの項目を達成または完了したクラブには、「特別会長賞」が贈られます。

ロータリークラブを対象とした会長賞のほかに、ローターアクトクラブ用とインターアクトクラブ用の会長賞も設けられています。ローターアクトクラブの場合、必須要件として、My ROTARYからクラブデータと会員の連絡先を更新した上で、2013-14年度会長賞（ローターアクトクラブ用）に記載されているその他の9つの条件のうち、少なくとも4つを満たさなければなりません。インターアクトクラブの場合は、2013-14年度会長賞（インターアクトクラブ用）に記載されている9つの条件のうち、4つを満たす必要があります。書式はいずれも、R Iのウェブサイトからもダウンロード可能です。漏れなく記入され、提唱クラブが署名した書式を、地区ガバナーあてに、2014年3月31日までに提出する必要があります。

詳しくは2013-2014年度会長賞要項でご確認下さい。

### R I 会員増強推進計画の表彰

クラブの方策、推進活動、プログラムの詳細な説明を地区ガバナーに4月15日までに提出してください。説明には次の点を考慮に入れてください。

- 方策あるいは推進活動の目的は何か、会員増強に対しこれがどのように新しく独創的なアプローチであったか。
- 会員増強に関する当初の課題はどのようなものだったか、課題に対して取った方策あるいは推進活動がどのように積極的なアプローチであったか。
- 会員増強に影響を与えた地域的要因、問題、傾向はどのようなものだったか、これらの問題に対応するために用いられた方策はどのように画期的であったか422-JA-(1108)。
- プログラムや推進活動の実施において、どのような手順や手続に従ったか。
- 誰が関与したか、何が成し遂げられたか。
- 会員増強に対するプログラムの長期的な成果にはどのようなものが期待できるか。

地区レベルで設けられている本賞は、会員増強の3つの基本要素、すなわち会員維持、会員候補者の勧誘、新ロータリークラブ結成のための画期的な計画や方策を立案し、実施したクラブを表彰するものです。

各賞の詳細については、国際ロータリーのホームページをご覧ください。

# 新 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



室蘭東RC  
**佐藤 幸哉**  
入会日 9月11日  
職業分類 機械製造



札幌大通公園RC  
**中川 照雄**  
入会日 11月14日  
職業分類 医薬品卸売業



札幌大通公園RC  
**鶴丸 俊明**  
入会日 11月14日  
職業分類 考古学研究・教育



岩見沢東RC  
**西 任**  
入会日 11月19日  
職業分類 コピエンストア様

## 地区組織図の変更について

### ・地区ライラ委員会について

若松 孝会員（札幌モーニングRC）と遠藤浩一会員（岩見沢RC）が新たに委員として選出されましたのでお知らせ致します。

なお、遠藤浩一会員については地区社会奉仕副委員長を兼任しておりますので、勤務先等については地区名簿でご確認下さいますようお願い申し上げます。

若松 孝会員：医療法人わかまつ歯科医院 理事長

〒062-0034札幌市豊平区西岡4条10丁目3-20

電話011-857-6483 FAX011-857-6483 E-mail: info@wakamatsushika.com



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 地区大会記念講演より

書名	著者/出版社	発行年	頁
「人として野球人として」(D. 2530地区大会記念誌)	小早川毅彦	2013	8P
「これからの日本について」(D. 2740地区大会記録)	鳥越俊太郎	2013	2P
「愛と汗の心」(D. 2510地区大会記録誌)	久世郁夫	2013	13P
「国際社会の中の日本」(D. 2680地区大会記録誌)	五百旗頭真	2013	2P
「平和って、なに色？～私たちにできることを考えよう！」(D. 2680地区大会記録誌)	ロニー・アレキサンダー	2013	2P
「地域活性化と芸術（アートフォーラム）」(D. 2760地区大会記録)	北川フラム (コーディネーター)	2013	6P
「誰も書けなかった沖縄」(D. 2580地区大会の記録)	佐野真一	2013	4P
「いま日本の平和を問う」(D. 2590地区大会の記録)	小川和久	2013	19P
「ガウディに挑む男を追う!!－職業人としての使命」(D. 2730地区大会記録誌)	星野真澄	2013	4P

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功労者**

札幌北RC	澁田 勲	会員 (1回)	11月1日
札幌北RC	栗原 清昭	会員 (1回)	11月1日
札幌西RC	森谷 明弘	会員 (11回)	11月20日
札幌西RC	伏木 忠了	会員 (6回)	11月20日
室蘭北RC	工藤 克彦	会員 (1回)	11月29日
室蘭北RC	斎藤 崇	会員 (1回)	11月29日
室蘭北RC	赤崎 幸三	会員 (1回)	11月29日

**米山功労クラブ**

札幌北RC	26回	11月1日
函館RC	12回	11月7日

**ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます**

**メジャードナー**

深川RC	伊藤 崇	会員 (レベルI)	11月
------	------	-----------	-----

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

深川RC	杉村 修	会員 (4回)	11月
赤平RC	池内 厚志	会員 (1回)	11月
札幌西北RC	小川 眞治	会員 (5回)	11月
小樽RC	西條 文雪	会員 (2回)	11月
浦河RC	小関 孝雄	会員 (1回)	11月
室蘭北RC	村井 玄乙	会員 (3回)	11月
函館東RC	吉村 昭二	会員 (4回)	11月
函館東RC	吉村 朝子	会員 (2回)	11月

**ポール・ハリス・フェロー**

留萌RC	大嶋 孝広	会員	11月
札幌北RC	佐々木 宏	会員	11月
札幌南RC	遠藤 昭一	会員	11月

**2013-2014年度 カレンダー (下半期)**

月	ロータリー月間強調事項	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 I M、クラブ周年行事
1	ロータリー理解推進月間	9(木)~14(火) 19(日) 25(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 国際奉仕検証ツアー (タイ) 2014学年度米山奨学生選考試験(札幌) ロータリー海外研修予定 2013-14年度ガバナー補佐会議(札幌) オーストラリア青少年交換学生歓迎会他(札幌)	12(日)~18(土)	国際協議会(米国・サンディエゴ)	
2	世界理解月間 ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23)	1(土) 22(土)	財団学友帰国報告会(札幌) 2014-15年度ガバナー補佐研修セミナー(札幌) 2014-15年度地区チーム研修セミナー(札幌)	16(日)		第8グループI M予定(浦河)
3	識字率向上月間 世界ロータリー週間 (3/13を含む1週間) 世界ロータリーの日(3/13)	8(土)~9(日) 9(日)	2014年3月終了米山奨学生歓迎会 2014-15年度会長エレクト研修セミナー(札幌) 地区財団セミナー・地区米山セミナー(札幌) 青少年交換学生春季スキーキャンプ予定	1(土) 14(金) 29(土)		第9グループI M予定(登別) 札幌東RC55周年記念式典予定(札幌) 第6グループI M予定(小樽)
4	ロータリー雑誌月間	13(日)	2014-15年度地区研修・協議会(札幌)	19(土) 25(金)~26(土)	韓国第3700地区大会予定(大邱)	第2グループI M予定(砂川)
5			北海道米山学友会家族懇親会予定	10(土) 11(日) 17(土) 17(土) 24(土) 24(土) 25(日)		札幌真駒内RC40周年記念式典予定(札幌) 第12グループI M予定(苫小牧) 栗沢RC50周年記念式典予定(岩見沢) 長沼国際交流フェスティバル(長沼) 岩見沢RC60周年記念式典予定(岩見沢) 第7グループI M予定(恵庭) 第1グループI M予定(羽幌)
6	ロータリー親睦活動月間 RI国際大会	15(日) 21(土)	新旧地区委員長・ガバナー補佐 合同引継ぎ会議予定(札幌) インターアクト年次大会 ロータリーアクト年次大会予定 2013-14年度終了	1(日)~4(水) 21(土)	国際大会(オーストラリア・シドニー)	新札幌RC30周年記念式典予定(札幌)

\*今年度より地区協議会の名称が地区研修・協議会に変更となりました

**2014年1月のロータリーレート 1ドル102円**

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013.7.1	2013.11.30	増減	内女性	
1	深 川	3	32	34	2	2	86.50
	羽 幌	4	45	47	2	2	73.43
	妹 背 牛	4	10	12	2	0	79.16
	留 萌	4	39	39	0	3	83.44
	小 計		126	132	6	7	80.63
2	赤 平	4	30	30	0	0	81.00
	芦 別	4	36	39	3	2	73.15
	砂 川	4	44	45	1	0	98.86
	滝 川	4	80	84	4	2	75.00
	小 計		190	198	8	4	82.00
3	美 唄	4	28	31	3	0	85.00
	江 別	4	35	35	0	1	87.14
	江 別 西	4	26	26	0	4	98.10
	岩 見 沢	4	76	76	0	0	91.47
	岩見沢東	3	22	24	2	3	92.49
	栗 沢	4	23	23	0	1	97.80
	栗 山	4	23	23	0	3	98.91
	当 別	4	28	28	0	1	88.23
	小 計		261	266	5	13	92.39
4	札 幌	4	115	123	8	0	97.86
	札幌はまなす	4	13	13	0	2	90.39
	札 幌 北	3	33	36	3	4	90.92
	札幌E-ソグ	4	47	48	1	0	71.13
	札 幌 西	4	52	52	0	7	86.95
	札幌西北	4	32	33	1	3	85.20
	札幌手稲	4	32	35	3	3	91.27
	小 計		324	340	16	19	87.67
5	札 幌 東	4	117	117	0	0	97.49
	札幌清田	4	19	19	0	5	100.00
	札幌幌南	5	52	57	5	2	100.00
	札幌真駒内	4	20	22	2	3	98.80
	札 幌 南	3	80	79	-1	0	99.58
	札幌大通公園	4	14	16	2	1	57.75
	札幌セントラル	4	6	5	-1	2	85.00
	新 札 幌	4	23	25	2	3	92.50
小 計		331	340	9	16	91.39	
6	岩 内	4	20	20	0	1	75.00
	倶 知 安	4	37	41	4	6	71.50
	小 樽	4	69	73	4	0	88.00
	小樽南	5	69	69	0	2	85.97
	小樽銭函	4	21	21	0	2	86.60
	蘭 越	3	11	12	1	0	100.00
	余 市	4	41	45	4	4	81.75
	小 計		268	281	13	15	84.12

11月出席率・ 会員増減数	クラブ数	71クラブ
	期首会員数	2,514人
	当月末会員数(女性)	2,594人(119人)
	増加会員数	80人
	当月平均出席率	85.03%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013.7.1	2013.11.30	増減	内女性	
7	千 歳	3	50	54	4	3	90.50
	千歳セントラル	4	31	34	3	3	83.09
	恵 庭	4	40	44	4	3	91.02
	北 広 島	4	16	17	1	1	88.24
	長 沼	3	20	20	0	3	81.66
	由 仁	4	7	7	0	0	71.42
小 計			164	176	12	13	84.32
8	え り も	4	21	22	1	1	94.32
	三 石	3	15	15	0	2	73.80
	様 似	4	24	24	0	1	69.79
	静 内	4	65	65	0	0	70.18
	浦 河	4	28	26	-2	1	94.44
	小 計			153	152	-1	5
9	伊 達	4	53	54	1	0	81.48
	室 蘭	4	37	39	2	0	64.48
	室 蘭 東	3	35	36	1	0	86.80
	室 蘭 北	4	32	35	3	2	80.43
	登 別	4	31	31	0	1	83.87
	洞 爺 湖	3	8	8	0	0	100.00
小 計			196	203	7	3	82.84
10	函 館	4	85	86	1	0	82.16
	函館亀田	3	39	40	1	4	95.87
	森	4	41	40	-1	0	75.00
	七 飯	3	18	18	0	0	68.50
	長 万 部	2	9	10	1	0	75.00
	函館セントラル	4	25	24	-1	2	63.34
小 計			217	218	1	6	76.65
11	江 差	4	11	11	0	1	77.30
	函館五稜郭	4	47	49	2	0	91.87
	函 館 東	4	48	48	0	6	79.35
	函 館 北	4	22	22	0	0	95.35
	北 斗	4	15	16	1	0	57.00
	松 前	5	4	4	0	0	100.00
小 計			147	150	3	7	83.48
12	白 老	4	29	30	1	1	82.00
	苫小牧	5	52	51	-1	2	82.93
	苫小牧東	4	26	27	1	5	87.90
	苫小牧北	4	30	30	0	3	94.48
	小 計			137	138	1	11
合 計			2,514	2,594	80	119	85.03





五稜郭城は慶応4-5年、旧幕軍榎本武揚が立籠って政府軍と戦火を交えた日本初の洋式築城によるもので、その城址の図形は美しい。中庭に群生する赤松・黒松の巨木は今もその名残をとどめる。  
黒と赤と緑とで年輪の重厚さや、色彩のバランスをとった。

(デザイナー 羽野栄一)



全国的に知名度の高い襟裳岬を描いた。岬に断崖と強風により波が逆巻くさまと、灯台の長い影を図案化したものです。



小樽ロータリークラブは今年創立80周年を迎えます。全国で10番目に誕生したクラブです。クラブ創立80周年を前に、昨年バナーを新しくしました。小樽ロータリークラブの歴史と伝統を、小樽の代名詞でもある小樽運河に表現したものとっております。



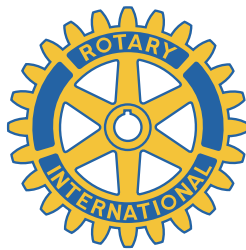
札幌東ロータリークラブは、音楽を通して受入交換留学生との交流をはかってきた歴史があります。札幌の象徴である時計台と札幌中心部を流れる川をイメージした五線譜に音符をのせました。



羽幌町は日本海に面した道北随一の観光地で、天売島・焼尻島道立自然公園の入口です。「はぼろ」秀峰ピシリの山岳美が街を象徴しているかのようです。バナーの地色は……紺色地で日本海の色です。水色は北海道の空、又緑は広大な大地で(すずらん)をあしらい、赤色(羽幌)町民の情熱をあらわし、新しいクラブの奉仕の理想に邁進しロータリーマークの下は観光のキャッチフレーズにしています。(創立時にはありません)



「北海道の里・追分流れるロマンの町・江差」のキャッチフレーズを取り入れ、江差沖で座礁、沈没した徳川幕府の旗艦「開陽丸」と、江戸中期より唄いつがれている北海道民族文化財である江差追分の楽譜及び尺八をデザインしたバナーとなっております。



**ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を**

**GOVERNOR'S MONTHLY LETTER  
2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**